

2014年5月

コンテンポラリーダンス
エマニュエル・ユイン 『Mùa』
2014年7月2日（水）～ 7月7日（月）

注目の仏人振付家による心を揺さぶるような体験

フランスのコンテンポラリーダンスではもはや「古典」と呼べるエマニュエル・ユインの処女振付作品『Mùa』。暗闇の中でダンサーの存在感が、非常に繊細な共振へと私達の視線を誘います。

エマニュエル・ユインは造形作家や音楽家など異なった分野のアーティストとの共同作業を精力的に行い、鋭い批評的なまなざしでダンスの再構築を進めているフランスのコンテンポラリーダンスを代表する振付家です。彼女は、トリシャ・ブラウンなど多くの著名な振付家の下で踊り、エルヴェ・ロブ、オディール・デュボックなどと共同作業を行ってきました。1994年にはヴィラ・メディチ海外研究奨学金を得てヴェトナムで創作。2004年から2014年までフランス・アンジェ国立振付センター（CNDC）の芸術監督を務めました。



Mùa © DR

また、日本への関心も非常に高く、2008年に日本人振付家坂本公成と制作した『Futago』や、生け花師範、奥平清鳳との共同創作パフォーマンス『心奪(しんばい)ー魂の略奪、あるいは飛翔ー』、2011年にパフォーマーの笠井叡とのデュオ『spiel』といった作品を発表しています。

本作品は完全な暗闇の中で踊るソロ作品で、彼女の最初の振付作品です。今回の来日では、公演だけでなく子供向けのワークショップを7月2日(水)と3日(木)に北九州で、7月5日(土)には横浜で開催します。

エマニュエル・ユイン 『Mùa』 公演概要

九州

公演 & レクチャー

日時：2014年7月4日(金) 19:00開演
(上演時間：30分)
会場：黒崎びびしんホール
(北九州市八幡西区岸の浦2丁目1-1)

入場料：2000円
(ワークショップ参加者は入場無料)

ワークショップ (2日間、対象：10歳～15歳)

7月2日(水)・3日(木) 19:00～22:00
料金：3000円

横浜

横浜フランス月間2014一環のイベント：

日時：2014年7月6日(日) 16:30分開演
(上演時間：30分)
会場：横浜赤レンガ倉庫1号館
(横浜市 中区新港 1-1-1)

入場料：前売：一般 2500円/
アンスティチュ・フランセ横浜・学生：2000円
当日：一般 3000円/
アンスティチュ・フランセ横浜・学生：2500円

E.ユインの子どものためのワークショップ

(対象：8歳～12歳)：
7月5日(土) 15:00～16:30 料金：500円

E.ユインによるレクチャー

7月7日(月) 18:30～20:30
会場：早稲田大学戸山キャンパス(文学部)
参加無料・要予約 (theatre.waseda@gmail.com)

広報担当：津田 桜

電話：03-5798-6008 - メール：sakura.tsuda@institutfrancais.jp

www.institutfrancais.jp